

兵庫県議会議員

石井ひでたけ



みるみる通信

日々の活動は  
ブログを  
ご覧ください



健康第一  
コロナ禍でも  
適度な運動を!



～第2ステージはじまる～

まっすぐに ひたむきに  
県政へ 全力投球

ポストコロナ社会へ  
変革と挑戦



伊川谷の潮海寺の「大護摩供(2月11日)」で火渡りに参加。煙が龍のように青天を衝き太陽が「龍の目」のように。コロナを倒す麒麟がやってくるはず!

過去最大規模の令和3年度県当初予算案が第353回2月定例県議会で可決しました。新型コロナの影響による税収減は約1,000億円減に踏みとどまったものの、国の交付税、新たに発行が認められた特別減収対策債の発行などで「辛うじて予算が組めた(井戸知事談)」もので、これは阪神・淡路大震災時より深刻な国家的な危機ともいえます。まさに、今が正念場。私たち一人ひとり、人類が一丸となってコロナ対策を徹底し、収束させねばなりません。そして、終息後のポストコロナ社会を見据え、デジタル化や地方回帰への流れを逃さず、活力に満ちた兵庫を創りあげる時です。

退任を表明している井戸知事の任期は4カ月あまり。秋までには衆院選が行われます。新しい県政、国の形が問われる1年になります。

「変革と挑戦」。変化を恐れず希望をもって未来へ挑む。私の原点は阪神・淡路大震災。人と人の絆、自然との共生の大切さ。創造的復興で得た経験と教訓をいかし、ポストコロナ社会をリードする「雄県兵庫」を再び築く。緊急事態宣言が解除され、朝の駅頭での活動も再開しました。初心忘れることなく、常に皆さま方に寄り添う姿勢で歩んでまいります。

第353回 2月定例県議会報告  
(2月17日～3月24日)

○議決案件

- ・令和3年度県予算
- ・令和2年度県一般会計補正予算

\*国の令和2年度第3次補正予算(1月28日成立)を活用して、緊急の医療提供体制の確保など新型コロナ拡大防止対策の強化、ポストコロナ社会を見据えた地域経済の活性化・地域の元気づくり対策を推進。さらに、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用して、激甚化する風水害、切迫する巨大地震等への備えなどに取り組みます。

- ・兵庫県立兵庫津ミュージアムの設置及び管理に関する条例
- ・県民ボランティア活動の促進等に関する条例の一部を改正する条例
- ・食品衛生法基準条例の一部を改正する等の条例
- ・兵庫県文化財保護条例の一部を改正する条例
- ・流域下水道事業についての市町負担額の決定
- ・第3期芸術文化振興ビジョンの策定
- ・第4次兵庫県男女共同参画計画の策定
- ・ひょうご多文化共生社会推進指針の改定
- ・ひょうご農林水産ビジョン2030の策定



など計150件

○同意人事

- ・収用委員会委員、瀬戸内海海区漁業調整委員会、但馬海区漁業調整委員会の同意

計3件

○意見書

- ・新型コロナウイルス治療薬にかかる国内における研究推進
- ・サイバー空間における犯罪対策の連携強化(以上、会派提案)
- ・飲食店等に対する営業時間短縮の要請に係る協力金の改善 など計11件

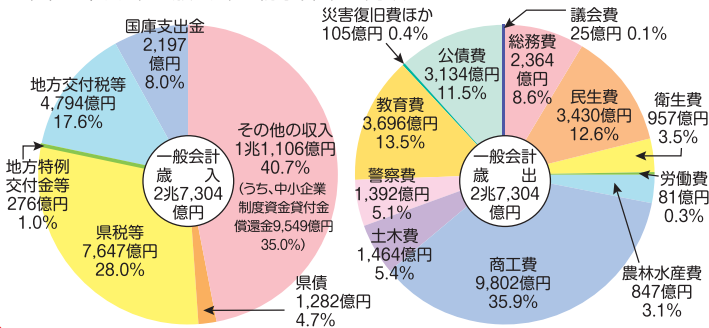
令和3年度県当初予算「ポストコロナへスタート」

県の令和3年度当初予算は、総額で前年度を6519億円上回る4兆6068億円にのぼり、過去最大規模となっています。

これは、新型コロナの影響による経済的影響の長期化が懸念されることを踏まえ、中小企業制度資金貸付金の7126億円の増などで、一般会計が過去最大2兆7304億円になったことなどによるものです。これを除いた一般会計の予算規模は、対前年比1.3%増のほぼ同額となっています。

- 予算編成の基本方針は次の通りです
- ①新型コロナ感染症への適切な対応
  - ②ポストコロナに向けた兵庫の活力創造
  - ③新たな兵庫への道筋

令和3年度 県一般会計当初予算案の内訳

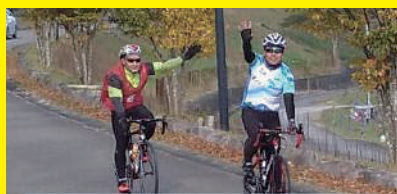


警察常任委員会活動報告

警察常任委員会の閉会中の継続調査事件として1月18日に「サイバーセキュリティ対策の推進」、2月12日に「重要犯罪の情勢とその対策」についてをテーマに開催されました。



# サイクルツーリズムで地域振興! コロナに負けず各地でイベント



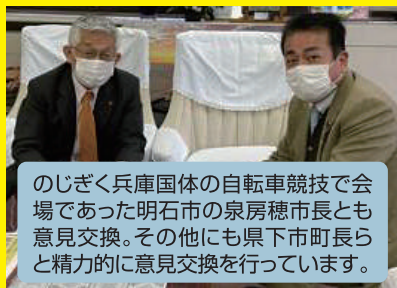
秋のグルメと丹波路を満喫する「ふるさとグランツール兵庫丹波2020」に参加。



川西市議会で自転車を活用した地域の活性化について意見交換。その後、越田謙治郎川西市長を表敬。



自転車マナーの向上に取り組む尼崎市の稲村和美市長と意見交換。



のじぎく兵庫国体の自転車競技で会場であった明石市の泉房穂市長とも意見交換。その他にも県下市町長らと精力的に意見交換を行っています。

サイクルツーリズムによる地域振興に取り組んできましたが、コロナ禍においても感染症対策に万全を期しながら、関連イベントが開催されました。県自転車競技連盟会長ということもあっていくつかのイベントに招待され参加しました。サイクリストと地元の方々が一体となった盛り上がり、サイクルツーリズムが広がりつつあると実感しました。



## 県議会で提案 全国規模の自転車競技大会が実現へ

昨年9月定例県議会の一般質問では、ポストコロナ社会における健康増進の取り組みとして県立播磨中央公園をサイクリススポーツの聖地として再生することを提案しました。

その第一歩ともいえる第1回JBCF(全日本実業団自転車競技連盟)播磨中央公園クリテリウム大会が3月13日、14日に開催されました。播磨中央公園では、私の提案も受け、今夏から順次、園路の一部を改修し、全国規模の大会も開催可能な7.2キロのサイクリングコースの整備に着手します。

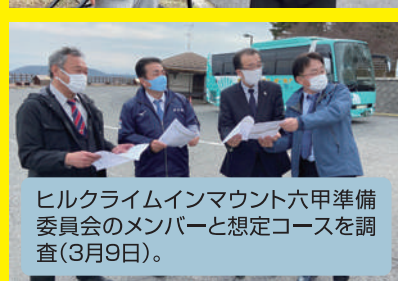
## 「ヒルクライムインマウント六甲」 実行委員会が今年発足

私が提唱してきた六甲山活性化のためのヒルクライムインマウント六甲(仮称)についても来年の開催に向け、今年、実行委員会が立ち上がることになっています。想定しているコースの視察などを行いました。神戸市、県警ともしっかり協議し、ポストコロナ社会に相応しい身近な自然とスポーツの融合、スタート地点となる有馬温泉の活性化、そして健康志向の高まりに応える大都市近郊の特色ある大会になるよう、私も積極的に助言、協力していきたいと考えています。

コロナの影響で中止になった「淡路島ロングライド150」にかわる「アワイチサイクルフェスタ」に参加。県議会議員・県自転車競技連盟会長として登壇し、「アワイチの良さをSNS等を通して全国に発信していただきたい」と呼びかけました。



播磨中央公園クリテリウム大会に出席。全国から東京オリンピック内定選手を含む約450名のサイクリストが参加。自転車界のレジェンド・今中大介副理事長と。



ヒルクライムインマウント六甲準備委員会のメンバーと想定コースを調査(3月9日)。



オリーブを植樹

**明日への成長 実感できる社会を願って**

**農業公園オリーブ園植樹祭**

西区押部谷の農業公園内の果樹園にオリーブ樹200本が育成されており、神戸県民センターも支援を行っています。今回、新たに200本を植樹することとなり、3月6日、神戸オリーブ植樹祭に参加しました。

**「楽農生活センター」リニューアル**

2月21日、西区神出の「兵庫楽農生活センター」のリニューアル記念行事に出席しました。「農」を楽しむ、実践する施設として、さらに多くの方に親しまれることを期待しています。

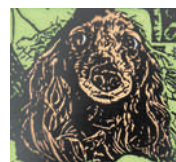


レモンの木を記念植樹

## 石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ  
B型 西区学園西町在住  
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、サラリーマン生活を経て、阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書  
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗  
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選  
平成19年・23年・27年・31年 再選

(現在) 兵庫県議会ひょうご県民連合議員団 団長  
兵庫県体育協会 評議員  
兵庫県自転車競技連盟 会長 他  
(主な経歴) 関西広域連合議会 議員(2期)  
兵庫県監査委員 兵庫県産業労働常任委員会 委員長  
兵庫県農環境常任委員会 委員長 他  
(趣味) ドライブ 自転車 登山(日本100名山踏破) 他



(ステイホームの過ごし方) 切り絵:愛犬(上)

## 石井ひでたけ 事務所

**伊川谷事務所**  
〒651-2113  
神戸市西区伊川谷町有瀬537-3  
TEL 078-978-0667  
✉ E-mail: ishiihidetake@gmail.com

**玉津事務所**  
〒651-2133  
神戸市西区枝吉1-215  
TEL 078-920-2200

公式サイトは  
こちら



## 月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで  
伊川谷事務所にて  
「県政相談会」を開催しています。  
どんどんご意見・ご要望お寄せください。

**伊川谷事務所 地図**

山陽新幹線  
和食のさと  
エディオン 自由空間  
大蔵谷IC  
神戸学院大学  
石井ひでたけ事務所 2F

公務等で不在の場合がありますので、事務所へご確認の上お越しください。